

## 配置や設備などに配慮し 意欲ある障害者が働きやすい職場づくりに取り組む



午前8時～午後6時は昼間勤務



点検・整備は運行前の日課

### ●ファックス装備の新車を用意する

現在、従業員90名で自動車貨物運送を主事業とする株式会社内山が障害者を雇用したのは、10年ほど前に遡ります。雇用してほしいという聴覚障害者が夫婦で会社を訪れました。対応した代表取締役の内山正章さんは、初めてのことに大変迷いましたが、雇用を決断。夫婦2人に子ども2人という一家4人が生活していくために、父親が仕事に就かなければならない事情はよくわかりました。

「最初は、非常に不安でした。聴力がほとんどありませんでしたので、車にファックスを置いて会社と連絡がとれるよう

にし、新車に乗せました。耳が聞こえないとエンジン音の異状を把握できないため、車輻トラブルの少ない新車がよいと考えたからです」

### ●不安を一掃する素晴らしい仕事ぶり

彼の仕事ぶりに内山さんは驚きます。通常、九州-豊橋間をドライバーは500～520リットルのガソリンで走ります。それが彼は450リットル。仮眠の時にエンジンを切っていたそうです。そうすれば、車に何かあれば震動ですぐにわかるという話でした。また、タイヤも毎週日曜日にきれいに洗い、人一倍入念に点検していました。

### 現場レポート



#### 自分なりに工夫し自然体でがんばっています

聴覚障害があり、補聴器を使用しています。ここには、平成16年11月に新聞折り込みの広告を見て、応募しました。仕事は、トヨタの物流センターに乗用車の部品を1日2回運ぶこと。カンバン方式の部品納品を支え、勤務は2人体制で、1週間ごとに日勤と夜勤と交替します。

障害があるので人一倍がんばらなくてはと思っていますが、いつもそうだと疲れてしまいますので、自然体を心がけています。運転中はパトカー、救急車、消防車といった緊急車輻に特に注

意しています。サイレンが聞き取りにくいので、ラジオは聞きません。それから寒くても暑くても、窓はいつも少し開けています。また、仕事の話でよく聞きとれなかったときは、必ず、わかるまで聞き直すようにしています。相手の方はわずらわしいと思うので気は配りますけれども、間違っただけを持って行っては絶対いけないですから。

障害者が採用に応募する時には、自分で考えて、できそうだと感じて訪れるので、とりあえず門を開いてほしいですね。実際にやってみて無理かもしれないです。そうではあっても、働けるかどうか3か月半の試用雇用期間をとり、見てもらえたらと思います。

豊橋営業所で配送(10トン車) 酒井勝行さん  
聴覚障害

内山さんは「意欲があれば、障害をカバーして、素晴らしい仕事をするんですね。それからは、障害を持った人が働ける職場をできる範囲でつくろうと思うようになりました」とのこと。

お客様も最初は、聴覚障害者の運転に不安を感じていたものの、彼の仕事ぶりを見るにつれ、問題ないと考えるようになったとのこと。



代表取締役の内山正章さん

### ●障害者が働ける職場づくりに取り組む

最初に雇用した障害者は残念ながら退職し、在籍していませんが、会社に少なからぬ影響を与えたようです。

「障害者の人たちも、意欲があれば仕事ができるようになると思います。できるような環境をつくれればいいわけです。それをするのがわれわれ管理職の仕事なのだと思います。しかも10年前とは違い、取引先の理解も進んでいます。酒井くんのように意欲的で仕事のできる人に、どんどん来てほしいですね」と内山さん。

会社は以後、障害者の雇用に取り組むようになりました。豊橋営業所で働く酒井さんの場合は、障害の程度が軽いので車輻に特別な配慮はしていませんが、定時に輸送する



ローブがけは入念に

配達先を選び、慣れた配送ルートで顔なじみのお客様へ届けるよう配慮しているので障害は問題ありません。職場でも障害の理解を進め、みんな大きな声で酒井さんと話すようにしています。また、総務部門で働いていた肢体不自由の女性が寿退社したばかりとのこと。

内山さんには、長年地域で仕事をさせてもらった恩



「明るく、楽しく、元気よく」がモットーの会社

### 企業プロフィール

所在地	愛知県豊田市
事業所数	本社、営業所2
常用雇用者数	90名
雇用障害者数	1名(ドライバー)

返しをしたいという思いもあります。「ドライバー以外に、海上コンテナ運搬のリフト作業などでの雇用も考えていきたいですね」

躍進する中部地区経済の物流面を支える一員として、意欲あふれる人材の採用に障害の有無は関係ないようです。



運転中、窓を少し開けておく(緊急車輻の音を聞くため)



仕事の内容は、はっきりわかるまで聞きなます

### 雇用管理のポイント



#### 目を見て、大きな声で話そうとしています

豊橋営業所 所長  
村松直樹さん

酒井くんの場合は、新聞折り込みの広告がきっかけでしたが、通常求人ハローワークで行っています。酒井くんを採用した一番の理由は、仕事への意欲が感じられたことです。聴覚障害の先輩が同じ職場にいたので、働き方に全く不安はありませんでした。先輩は健常者以上の仕事をしていました。

酒井くんへの連絡は、携帯電話のメールではなく電話で行っています。電話だと話すことに集中しますから、聞きとりやすいかもしれません。

あまり障害を意識することはありませんが、目を見て大きな声で話そうとしています。勤務体系、ルート、仕事内容も健常者と全く変わりません。お客様の評判は、健常者よりいいですよ。